

葉っぱのはがき 届くかな

両親宛て、園児が投函

社中央保育園

葉っぱのはがき、届くかな。福井市の社中央保育園の園児20人が20日、卒園式を前に両親への感謝の言葉を木の葉につづり、切手を貼って投函した。

26日の式に向けて初めて企画。モチノキ科タラシの木に、園児たちは鉛筆の芯をくり抜き、つまようじを埋め込んだ特製ペンを使

ヨウの葉をほがき代わりに使った。タラシは葉の裏に傷をつけると黒い線が浮かび上がり、文字が書けるので「はがきの木」と呼ばれている。

園児たちは「はがきの木」と呼ばれている。



親への感謝の言葉を記した「葉っぱのはがき」を手に笑顔の園児たち＝20日、福井市の社中央保育園

って、「おかあさんありがとう」などと丁寧に文字を刻んだ。表の宛名と住所は先生が白いペンで書き、園児が120円切手を貼ってオリジナルのはがきを完成させた。

杉田来晴ちゃん(6)は「葉っぱに本当にか緊張したけれど、面白かった。お母さんはびっくりして喜んでくれると思う」と話していた。

日本郵便北陸支社によると、木の葉は定形外郵便物扱いとなるため、縦14センチ、横幅9センチ以上出すことができる。

(畑祐一郎)